

Thomas Traversa(FRA)

SPICARE OMAEZAKI JAPAN CUP

昨年3月、ウインドサーフィンの聖地・御前崎が、2つの国際組織[PWA]と[IWT]のポイントを統一し、「真の世界チャンピオン」を決める初の国際ツアーの舞台となった。

今年も同ツアーの第1戦が御前崎で開かれ、世界をまたにかけて活躍する強者たちがしのぎを削った。



Motoko Sato (JPN)



Ryu Noguchi (JPN)



Robby Swift (GBR)



Liam Dunkerbeck (ESP)



Takara Ishii (JPN)

RESULTS Players of Omaezaki

- 佐藤 素子 Pro Women's 優勝
- 池田 良隆 Master's 優勝
- 石井 孝良 Pro Men's 5位入賞
- 石井 颯太 Pro Junior Boys 2位
- 野口 颯 Pro Men's 7位入賞
- 野口 颯 Pro Junior Boys 3位
- 野口 颯 Pro Junior U-18 優勝



ここで波に乗り
たい」と笑顔で
話しました。

プロ男子で優勝したのはアメリカ出身のバーンド・ロディガー選手。「御前崎の海にはここでしか味わえない風や波があり、来るたびに違うコンディションでウインドサーフィンを楽しめます。また

国際ツアーが御前崎で開催
ウインドサーフィンの国際大会「スピケア御前崎ジャパンカップ」が、2月19日から25日まで御前崎ロングビーチで開催されました。同大会には、プロ男子、プロ女子、マスター、ジュニア男子、ジュニア女子部門に国内外合わせて68人の選手が出場。本市からは、石井孝良選手、石井颯太選手、野口颯選手、野口生喜選手、佐藤素子選手、池田良隆選手の6人が出場し、世界で活躍する選手と熱い戦いを繰り広げました。

▲市内で活動するウッドバーニングアーティスト・KANさんが手掛けたトロフィー
◀プロ男子で好成績を収めた選手